

～ 海外ボランティア説明会のお知らせ ～

5月26日（木）12：10～13：00に6101教室で、海外ボランティアの説明会を行います。説明会詳細は3Sをご覧ください。

当日は、武蔵大学から初の海外ボランティアとして、2015年にカナダの「キャット・サンクチュアリー」（動物保護）で活動した水川さんがお話しされます。以下は、水川さんの体験レポートです。説明会に参加をご検討の方は是非お読みください！尚、詳細は、説明会でご本人から直接聞くことができます。



左側が水川さん。右の女性は、同じボランティアに参加した日本人の学生さんです。

拙い英語でも一生懸命伝える努力をすることで、
自信と積極性が身につきました！

[参加者] 水川美咲さん（人文学部ヨーロッパ文化学科3年）

[参加プログラム] カナダの「キャット・サンクチュアリー」（動物保護）

[活動場所] カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州リッチモンド

[参加時期] 8月 [参加期間] 4週間

私は2015年の夏（8月～9月）にカナダの動物保護団体のキャット・サンクチュアリーで、捨て猫等の世話のボランティアを行いました。もともと海外に行くことや、ボランティアをすることに興味があり、留学ではできない経験を海外でしてみたかったので、思い切って参加してみました。

実際に行った仕事はこの施設で週5日、午前中の9～12時の3時間、猫への餌やりや糞の処理や掃除等でした。このような作業は決してきれいなことばかりではありませんでした。しかし、毎日ティータイムがあり、施設の方々と仕事を通して交流することができ、いい経験になりました。また、仕事は午前中だけだったので、午後に遊園地、海、ショッピング等に遊びに出かけることができましたのもとても楽しい思い出です。

ホームステイ先では、最初はファミリーと英語でコミュニケーションするのがとても大変でしたが、次第に慣れ、後半は、拙いながらも積極的に自分から英語でコミュニケーションをはかれるようになりました。

このボランティアを通して、拙い英語でも伝えようという意志があれば伝わるということ学びました。また笑顔やジェスチャーは世界共通であり、コミュニケーションのツールとして有効だと実感しました。

今後は、さらに視野を広げ、自分自身を見つめ直すことで、より積極的に行動していきたいです。

迷っている後輩に伝えたいのは、「少しでも興味があるならすぐに行動にうつすべき！」ということです。海外ボランティアは、普段の生活では味わえない経験ができます。学生時代にしかできない貴重な経験なので、是非、皆さんも積極的に参加してほしいと思います。